

2024年度 新入社員への社長メッセージ<要旨>

帝人株式会社 代表取締役社長執行役員 CEO 内川 哲茂

【2024年4月1日(月)10:40～ 於 東京都千代田区「イイノホール」(新入社員82名)】

- 82名の新たな仲間を迎えられたことは大きな喜びであり、帝人グループを代表して心から歓迎する。社会人としてさまざまな期待を胸に本日を迎えられたことと思う。帝人グループはグローバルで多様な事業展開を行っており、皆さんが挑戦し、輝ける場所が数多くある。思う存分挑戦し、大きく成長して欲しい。
- 皆さんはこれから仕事を通じて多くの経験を重ねると思う。充実した日々がある一方で、中には思いもよらないことや困難にぶつかり、落ち込んでしまうこともあるかもしれないが、そのような時こそ目の前の仕事に懸命に取り組んで欲しい。一つ一つの取り組みが皆さんを成長させる糧になることを社会人としてスタートするにあたり、先ず胸に刻み込んで欲しい。
- これまで企業は、市場のニーズに応える製品や独自性のあるサービスを提供し、経済的利益を大きくすることで自社の企業価値を高めてきた。しかし、社会が著しく変化し、気候変動による自然災害の発生やエネルギー問題、パンデミックなど、社会課題が複雑化する中、グローバルな社会課題を解決することで存在意義を発揮することが求められ、そして、その企業姿勢や価値観をステークホルダーへ伝えて共感を得ることで、企業価値を高める時代が変わってきている。
- 社会課題を解決するという考え方は帝人には昔から備わっており、例えば、膜技術から生まれた酸素濃縮装置を40年前に開発したが、装置を製造・販売するだけでなく、呼吸不全の患者さんの自宅へ届け、在宅で患者さんのケアまでを行うヘルスケア・サービス事業へと発展させた。現在では、利用者の見守りや災害時に安否確認を行い、緊急で酸素ポンペを届けることも行っている。また、30年以上前には、重金属フリーのポリエステルとケミカルリサイクル技術を開発することに成功し、汚染土壌の浄化にも取り組んだ。帝人グループには、このようなお客様の困りごとや社会課題に先回りして取り組む精神が今も根付いている。
- 現在、帝人グループは、企業理念に立ち返り、改めて自社の過去・現在・未来を考え、私たちが果たすべき「存在意義」を社会の視点から考えるパーパス・ブランディング活動「Journey to One Teijin」を推進している。パーパスを明確にし、それを事業戦略や私たちの行動指針へと落とし込み、長期ビジョンである「未来の社会を支える会社」になることを目指している。パーパスの公表後は、パーパスを社員の皆さんの日々の活動に落とし込み、「マイパーパス」を実践する活動を展開していく。皆さんも積極的に参加して欲しい。
- 皆さんが仕事をするうえで心がけて欲しいことを3点伝える。
 - 一つ目は、「担当業務に関して、プロフェッショナルになること」
責任感や倫理観を持ち、自分自身を高めるべく常に成長やスキルアップを心がけて業務に取り組んで欲しい。近道はない。真剣な姿勢で日々の仕事に懸命に取り組んで欲しい。
 - 二つ目は、「失敗を恐れずチャレンジすること」
当社の105年の歴史は、挑戦と失敗の繰り返しであったと言える。挑戦し、変革していかなければ企業は生き残っていけない。積極的にチャレンジして欲しい。
 - 三つ目は、「強い思いを持ち、それを発信し実行すること」
自分なりの意見を持ち、言葉にして発信して欲しい。素晴らしい戦略を立てることも大切だが、成否を分けるのはやり遂げたいという強い思いと実行力である。
- 最後に、私が帝人グループで働く皆さんにいつも伝えている言葉を紹介する。「苦しい時に明日の自分を支えてくれるのは、昨日までの自分の行い」。努力や頑張りだけで全ての問題が解決するとは思わないが、一方で、努力なしには結果は出ないことも事実ではないかと思う。長い社会人生活において順調な事ばかりでは無いかもしれないが、そんな時こそ先の言葉を思い出し、自らが目指す未来に向かって努力を続けて欲しい。皆さんの願いを結実させるとともに、大きな力となって帝人グループを発展させてくれると信じている。

以 上